



# 義理の母と

## 種付け交尾性交♡

### 子作りしないと出られない村で。

スマホ対応縦型作品


基本CG 18 枚

本編 251 枚



私達

結婚しました



クソ親父めっ！  
何が結婚しましただ！

絶対詐欺られてるだろ！  
いい歳してアホかコイツ

などというふざけた知らせを  
受け取ったのは

面接を受けた企業からの  
お祈りメールが届いた直後だった。

sage

重に選考を致しました  
と残念ではございます  
はご希望に沿えない結果となり  
しでのご連絡となり大変心苦しい

悪しからずご了承いただくようお願い

末尾ながら今後一層のご活躍を心より

一度会ってくれと  
言われたもの…

オンライン通話で済ませた


正直家庭を顧みてこなかった  
親父が誰と一緒にいるうが  
いまさら興味はなかった。

俺の義母…になるという  
佳代さんは

笑顔の可愛い  
明るい女性だった…

こんな人が何で  
親父と？


会話を交わしながら  
怪しさしか感じなかった



つーかそもそも  
親父、今どこに居る  
んだよ？

ん？私か？  
N県のX村だ

は？  
N県？何で？



編集者である親父は  
N県の何とか言う  
祭りと宗教について  
取材旅行に出かけて  
いたのだが…

そこで佳代さんと  
知り合い…  
意気投合してしまった  
というわけらしい…



いやー結婚っていいぞ？  
なんか若返った気分♪

あっそ

母さんが生きてた時も  
それぐらい家庭に興味  
持てばよかったのに…

なんて文句をぶつける程  
俺は親父に愛情は無かった。

実はもう婚姻届は出したから、後は結婚式だな

はやっ

お前も一度こっちへ来てくれよ

気が向いたらな

まあ親父を騙したところで大した財産あるわけ無いからな…。勝手にしろよ

あっ…あのっ  
私の方から行きます

一度そちらで  
お会いしましょう？

は、はあ…

お前が来る頃には  
兄弟が3人ぐらい  
出来てるかもなあ

わっはっはっは

そんな事をほざいてた  
親父が…

急死した!?

ポクポクポク...



ウツツだろーっ!?

佳代さん：義母さんが  
嗚咽まじりの声で  
電話してきた

俺は慌てて新幹線に  
飛び乗った

だがなぜか俺が  
村へ行くことを  
義母さんは非常に  
嫌がった：



絶対来るな...って  
村にはいったい  
何があるってんだ？

X村は山間の小さな村だ。

親父によると非常に閉鎖的で  
村独自の文化をいまだに  
守り続けているという…

だがいくらそんな田舎とはいえ  
死んだ父親の葬儀にも  
来るなんてのは尋常じゃない

はは…マジで  
すげえ田舎だな

トキトキ

あ、あのう…

耕助…くん？

ギョッ

は、初めまして。  
佳代です…

は、はいっ  
あの、初めまして！

びくっ

何テンパってんだ俺っ？

ま、まあ。その…  
なんだ…

親父が舞い上がるのも  
分かる気はするな…

来て…しまった  
んですね…

ざあざあ…



で…あ、あのー

とぽぽぽ…

…はい。

親父の葬儀にも  
来るなって一体  
どういうことですか？

…それは…。

あなたにも災いが  
降りかかるからです

え？  
災い…？

？

親父が死んだ事と  
俺にどんな関係が…？

ずずずずず…

その昔、この村を  
大変な疫病が襲い  
村人がどんどん  
死にました…

失った人口を戻すために  
村人は神降ろしをして  
多産成就を願いました。

靈験ある神が現れ  
男女の交わりが盛んと  
なって、村は再興しました

ごめんなさい。  
お話、長くなるので

お食事しながら  
聞いてください…

ええっ！  
こ、こんな豪華なっ

田舎料理だから  
お口に合うか  
分からないけど

いえ、そんな…

なんか、本当に  
母親ができたみたいで  
照れちゃうな…

うう…何だ？

天井…

え…？

お、俺  
寝てたのか？

何で急にそんな…

んっ

それに…  
なんか暑い…

んっ

じゃなくてっ

ムキムキ…

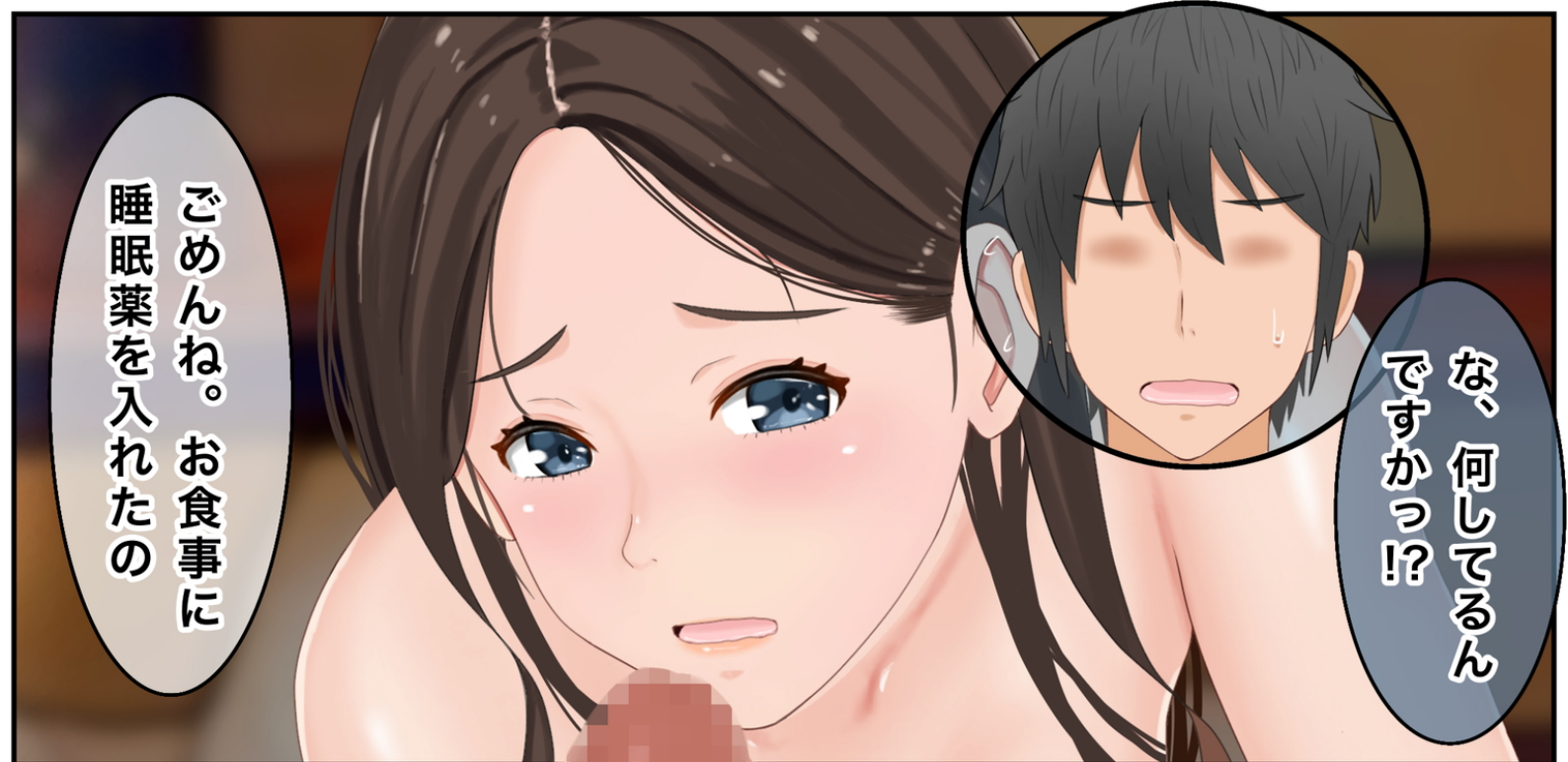
股間が熱いーっ！

あっ…

は…？

お義母さん…？





な、何してるんですかっ!?

ごめんね。お食事に  
睡眠薬を入れたの



ビクッ  
んん

そんなっ…  
はうっ!

聞いて…  
この村はね

その神様をずっと  
祀ってきたの

んん  
んん

しゅん  
しゅん

神様は子供をたくさん作る  
村人を愛したわ。

だけど

子供を作れない者を  
大層憎んだの…

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

しゅっ♡

しゅっ♡

しゅっ♡



神様は、婚姻や養子を含めて  
村と縁を結んだ人間を祝福し

一方で子を成さないまま  
村を出ようとした者を

殺すようになったの

はうっ

ぎゅっ！

キゅっ！

キゅっ♡

じゃ、じゃあ  
親父はその  
神様つてのに…

あっ

そう…

んっ♡

耕一さんはすぐにでも  
村を出ようと言いつ出して…

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

しっ、

しっ、

しっ、





私は止めたの。  
だけど聞いてくれなくて

心配した通りあの人は  
村を出たその日に…

んっ♡

ほして、あなたも  
んんっ…村に入った  
その時から…

この村の人間。

あなたはもう村と縁を  
結んでしまったのよ

びんぐっ

んんんんんん

ちゅこっ♡

ちゅこっ♡

しこっ♡

しこっ♡

じゅる、

あ…ん、らいじょうぶ。  
れんぶ…わらひに任せて？

んっ♡

んっ♡

まずは、俗世の穢れを  
ほうやっで…んんっ  
清めていきます…

んぶっ♡

れっ♡

んっ♡

んっ♡

あっ…うっ…

んっ♡

んっ♡

んっ♡



佳代さん…義母さんが  
俺の亀頭を小さな口で  
啜え込む

んっ…  
ふっ…♡

身体が自由に動かない俺は  
状況も飲み込めないまま  
彼女の口淫に囚われていった…

かほいっ

ああっ…  
佳代…さんっ



んっ♡

んっ、ふふ…  
すおく…おおひい

んっ♡

んっ♡

耕助君…いいよ。  
いっぱい気持ちよく  
なってる？

んっ♡

うっ…ああ  
気持ち、いい…

んっ♡

んっ♡

んっ♡





ぢゅるるる, ♡

ぢゅるるる, ♡

はぁあぁぁぁ ♡

はぁあぁぁぁ ♡

はぁあぁぁぁ ♡

はぁあぁぁぁ ♡

はぁあぁぁぁ ♡

はぁあぁぁぁ ♡

はぁあぁぁぁ ♡

はぁあぁぁぁ ♡

しゅっ, ♡

しゅっ, ♡

あつ…あつ  
佳代さんっ…  
俺っ…も、もうっ

んっ♡♡

ちゅっ♡  
ちゅっ♡

んっ♡

ちゅっ♡  
ちゅっ♡

んっ♡

ちゅっ♡  
ちゅっ♡

ちゅっ♡  
ちゅっ♡

んっ♡

ちゅっ♡  
ちゅっ♡

んっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡



わらひのお口に  
ねんぶつ

いいおっ  
いっはらおっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ





ズクッ

んんんんん  
んんんんん  
んんんんん  
んんんんん  
んんんんん  
んんんんん  
んんんんん  
んんんんん

ズクッ  
ズクッ  
ズクッ  
ズクッ  
ズクッ

ズクッ  
ズクッ  
ズクッ  
ズクッ  
ズクッ



ああ…  
佳代…さん…

ん…ふ…

ん…

ん…♡

ん…♡

ん…♡

俺は…義母になる人の  
回の中に思いつきり  
射精してしまった。  
こんな…バカな事が…

ずるるるる

エカレエカレ

ちゅー  
ちゅー



うふふふ…  
ごめんなさいね

私ったらちよつと  
興奮しちゃって…

俺の亀頭を舐め回して  
そう眩いた彼女の目には  
淫靡な妖しい光が灯っていた

ちよつと

おん、



はい…これで耕助君の身体は  
キレイに清められたわ

どうしたの？  
ここからが本番よ？

うふふ…いいの。  
キミは寝てるだけで。

全部私が  
してあげるから…

義母さん…？いったい  
何言ってるんだ？  
これから何する気だ？



キミが祟りから逃れるには  
私と…こ、子作りする  
しかないの…

だから…少しの間  
我慢してね？

そ、そんな、今出した  
ばっかりだし…

って…何いいいっ!?

びきっ  
びきっ

ギンギンじゃねえかっ!  
どうなってんだ俺のチンコっ

あは…すごい…

もうこんなに  
固くなって…

これなら元気な赤ちゃん  
いっぱい作れそうだね？

ぴた  
▽

ぴた  
▽



って…あの…  
じめんなさい

こんなおばさんと  
無理矢理はイヤよね？

い、いえ…そんな…

でもキミを助けるには  
こうするしかないの

くいっ

くいっ

ちゅぷっ  
ちゅぷっ  
ちゅぷっ

ちゅぷっ  
ちゅぷっ  
ちゅぷっ



じゃ、入れる…  
からね？

うう…  
佳代さん…

んっ…ふっ

彼女の膣内はすでに熱く濡れていて  
難なくチンポを飲み込んでいく…

ちゅっちゅっ

ぬっ

ちゅっ

ああ…熱い♡  
耕助君のおチンポ…

今日初めて会った「義理の母」と  
セックスしてる…  
これは、現実なのか…？

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

あゝ♡

ズチュッ

ズチュッ

ズチュッ

ズチュッ

ズチュッ

ぬっほ♡

ぬっほ♡



あっ♡あっ♡♡♡

あゝ♡

おチンポ…  
一番奥まで入って…

ああ…耕助君…  
こんなふしだらな義母さんで  
ごめんなさい…

あゝ♡

あゝ♡

ズッ♡

ズッ♡

あゝ♡

ズッ♡

ちゅぷぷぷっ

ズッ♡



ええっ？

繋がってるとこ  
ヌルヌル光って  
凄くいやらしい？

イヤあつ…恥ずかしい  
そんなに見ないでっ

ずちゃっ

どちゃっ  
ずちゃっ

どちゃっ

ちんぽ

んっ

あゝ

あゝ

あゝ

♡

♡

♡

♡



だめっ…  
集中するのよ。

んっ  
♡

これは…  
耕助君を救うための  
行為なんだから！

んっ  
♡

んっ  
♡♡♡

んっ  
♡

バコ…♡

バコ…♡

バコ…♡

バコ…♡

バコ…♡

んっ  
♡  
ぢゅ、ぢゅ、

んっ  
♡  
ぢゅ、ぢゅ、



あッ♡

あッ♡

ああっ...でも...

耕助君のおチンポ  
あの人よりも...  
太くて、固くて...

あッ!!

長持ち♡  
♡  
♡  
♡  
♡  
♡  
♡  
♡  
♡  
♡  
♡  
♡

ザッ♡

ザッ♡

ザッ♡

ザッ♡

ザッ♡

ばちゅっ♡

ばちゅっ♡



♡  
義母さんの中に  
赤ちゃんの種たくさん  
ちようだいっ!  
♡♡♡

耕助君…お願いっ  
精液出してっ♡♡

いんゝゝゝ

あゝゝ

あっ!スゴっ  
もお私っ…

あゝゝ

いんゝゝゝ

あゝゝ

ずちゅ

ずちゅ

おは

おは

ぢゅゝゝゝ ぢゅゝゝゝ



あ、あ、あ、あ、あ〜

あ、あ、あ、あ、あ

あ

♡

♡

♡

♡

♡

ヒキ

ク

びび

あ...はは...

お母さん

いっぱい出たね

お義母さん、ビックリ  
しちゃった...

お母さん

びく、

お母さん

びく、

お母さん

びゅん

びゅん



その…ごめんなさい。

きちんとお話するべき  
だったのだけど  
とても理解が及ばないと思って…

はあ

子供が出来ればキミも  
崇りから解放されて  
この村から出ていけるから…

はあ

はあ

…?  
耕助…くん?

はあ





えっ!?  
きゃっ!

ちよっ…あのっ  
こ、耕助君!?

はっ  
はっ  
はっ

はあはあ…  
義母さんっ…

あっ…  
あっ…  
あっ…

はっ  
はっ  
はっ

あっ♡

あっ♡

ああ…耕助君…  
スゴい…

あっ♡

おチンポ、もう  
こんな大ききくっ

俺はまだまだでできるぜ？  
見てくれよ、コレ…

にゅゅっ

にゅゅっ





ん  
っ

あ  
っ  
っ

あ  
っ  
っ

あ  
っ  
っ

あ  
っ  
っ

あ  
っ  
っ

お、俺…どうしたんだ…？

あっ♡あっ♡  
耕助くんっ…  
激しっ…あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ



俺…言葉が勝手に…!?

いやだ…私…  
そんなこと…

はあはあ…義母さん  
まだ、物足りないんだろ？

ん

あ

ちあ

あ

ちあ

ちあ

ちあ

ちあ

あ

嘘つくなよ。義母さんのマンコ  
俺をがっちり啜えて離さないぜ

ああ…ひどいっ  
私…恥ずかしい

ち、違うっ…俺は  
そんなこと思ってなんか…

あうっ

あうっ

あうっ

あうっ

あうっ

あうっ

あうっ

あうっ



あは♡  
なーんてね♪

えっ!?

キミには今、神様が  
降りて来てるの。  
ビックリした？

神様を鎮めるには  
欲望の赴くままに  
種付け交尾しなきゃ  
いけないの…

だから…いっぱいして？  
好きなだけ♡♡

♡♡♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

あああんっ!  
耕助…くんっ

んっ  
ぷるっ

あ

ぷるっ

うっ…おっ…  
義母さんっ…!

あ

んっ

んっ

ずぶずぶ

あ

んっ

んっ

んっ







チビチビ

♡♡

♡♡

♡♡

チビチビ

チビチビ

チビチビ

チビチビ

チビチビ

チビチビ

チビチビ

チビチビ

チビチビ

チビチビ

うっ…義母さんっ

はっ…わたしっ  
もーダメえっ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

ズ

ズ

ズ

ズ

ズ





あははは  
あははは

あははは  
あははは  
あははは  
あははは

あははは

あははは  
あははは

あははは  
あははは

あははは  
あははは



ビクビクッ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

あっ…すげっ…  
耕助君の精液…♡


私の子宮めがけて  
ドクドク流れ込んでる♡

ズクッ♡


ズクッ♡

ビュッ! ビュッ!






ご、ごめんなさい！  
俺っ…佳代さんに  
酷いことを…




うふふ…いいの。  
これも全部神様の  
影響なのよ



あなたのお父さんも  
すごかったんだから！

親父も…？

そう。この村に入った  
人間は性衝動が  
異常亢進してしまうの。



人口を増やすため…  
赤ちゃんを作るためにね

でもお父さんは体も  
精神も神様の「祟り」  
に耐えられなかった…

だから…  
村から逃げようとして

死んだ…？

つまり…創作とかに  
よくある

子作りしないと  
出られない村っ!?

私…キミのことを  
きつと助ける!

一緒に赤ちゃん  
作る?

その…ムラムラしちやったら  
キミがして欲しいエッチなこと  
何でもしてあげる♡

か、義母さん…